

SBC 公式戦初勝利!

SBC 12 | 9 某S

平成27年6月7日、河川敷球場にて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某Sとの試合があった。

SBCは初回に打者一巡の猛攻で一挙に8点、続く2回には4点を取り、試合を優位に進めた。2回終了時点で12対0となっていた。

しかし、3回からは完全に某Sチームの流れであった。3、4回ともに4点を取られ、5回には1点を取られた。

迎えた最終回。抑えの右下が粘りの投球を見せ、12対9で辛くも勝利となった。

投打での活躍 大下

今回のMVPは彼と言っても過言では無いだろう。打っては、SBCに流れを呼び込む先制タイムリーヒット。投げては、2回を投げて最小失点で抑えた。彼の活躍が無ければ、今回の公式戦初勝利は無かったであろう。

待望の今季初本塁打 石神

梅雨の季節だというのに、雲一つ無い快晴。その空に虹は無く、ホームランというアーチを描いた。

1回の裏、ノーアウト満塁で石神に打席が回ってきた。彼が甘い球を逃すわけもなく、バットを豪快に振り切った。ボールはライトの遥か頭上を越えて行った。これが彼にとっても、チームにとっても今季初のホームランになった。

満塁ホームランはチーム史上初となる。この日はチーム唯一の3安打、盗塁も2つを決めている。この男、今年はずっとチーム内打撃3冠王を狙っているに違いない。

選手としても活躍 木原

この日、「7番ファースト」選手兼監督としてスタメン出場を果たした。

そして、早速結果を残すのである。押せ押せムードの初回。この流れに乗るかのようにクリーンヒットの2塁打を放った。

前述の右下、石神、そしてこの木原のヒットにより、良い流れで初回に8点を奪うことができた。

今回の総



初回、2回までは完全にSBCのペースであった。「このまま行けば、コールド勝ちになるのでは」コールドってことは、早く帰れそう!」「点数取りすぎて少し疲れた」そんな雰囲気チーム全体にあった。

そして、3回以降の守備でのミス連発、打撃での0得点はなるべくしてなったものだろう。

メンバー全員の体力不足は言うまでも無いが、それ以上に、気の緩みが招いた結果である。

『野球は9回2アウトから』という言葉があるが、正にその通りである。ゲームセットになるまで気を抜いたらいけないのである。今回の試合はSBCにとって良い教訓になったはずだ。

次回の試合は6月中旬を予定しています。これからも皆様の応援よろしくお願い致します。



試合前、ストレッチをするSBCメンバー

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	左	秋山卓矢	2	1	1	0	2
2	二	西田宏伸	4	0	1	0	2
3	三	大下聡一郎	4	1	1	0	1
4	捕	河野章吾	4	1	2	1	2
5	遊	石神良梧	4	3	4	0	3
6	投	床島真二	2	2	0	0	2
7	一	木原伸治	2	1	1	1	2
8	中	富永翔太	4	2	1	0	2
9	右	外林良規	3	1	0	1	3
		西田悠一	2	0	0	0	0
		日高直人	2	1	1	0	1
		工藤友章	2	0	0	0	0
		河野哲二	0	0	0	0	0

(記者: 西田宏伸)(編集: 秋山卓矢)

【試合結果】

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
某S	0	0	4	4	1	0	9
SBC	8	4	0	0	0	0	12

【投手成績】

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	2	1	0
富永	2	1	8
大下	1	1	1



【☆マネージャー大・大・大募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

* 野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。

